

# 相談援助事例

## 総合相談事例

事例 No. 2	失業からの自立支援			地域	F市		
主な対象者	性別	世帯の特徴	<input type="checkbox"/> 高齢	<input type="checkbox"/> 児童	<input type="checkbox"/> 母子・寡婦	<input type="checkbox"/> 身体障がい	<input type="checkbox"/> 知的障がい
	男		<input type="checkbox"/> 精神障がい	<input type="checkbox"/> 外国籍	<input type="checkbox"/> ホームレス		
	年代		<input type="checkbox"/> 虐待	<input type="checkbox"/> DV	<input type="checkbox"/> 引きこもり	<input type="checkbox"/> 病気(骨折)	<input type="checkbox"/> アルコール依存
	40代		<input type="checkbox"/> 認知症				
	世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 多重債務	<input checked="" type="checkbox"/> 各種滞納	<input type="checkbox"/> 無収入	<input checked="" type="checkbox"/> 不就労	<input checked="" type="checkbox"/> 生活保護
	単身	<input type="checkbox"/> その他( )					
紹介経路	市役所生活支援課生活保護担当						
相談内容	<p>平成●年8月にリストラされ失業。電気・ガス・家賃の滞納、車のローン3万/月子供の養育費3万/月は待ってもらっている状態。</p> <p>10月6日 所持金が1,000円になり藤井寺市生活支援課に相談に行き、保護申請となる。</p> <p>10月7日 生活保護担当から生活困窮者レスキュー事業でのライフラインの復旧と保護開始までの生活支援の依頼がある。</p>			<p>家族関連図</p>			
対応 (相談・支援の内容)	<p>平成●年10月7日 社会貢献支援員とCSWが訪問したところ、本人は生活保護を受給する気はなく自立支援を希望されたので、生活保護申請を取り下げる。社会貢献支援員とCSWが同行し市社協で小口生活貸付資金と共同募金助け合い資金の申請を行う。小口生活資金が出るまでの間、昼食は高齢者施設で支援、夕食は弁当支援、就職活動の為にガソリン15リットル支援。また、日用品(トイレトペーパー、ボディソープ、シャンプー)を支援。</p> <p>10月13日 市自立支援の就労支援担当者同行でハローワークへ行き、就職活動を開始。</p> <p>10月15日 法人理事長が履歴書・職務経歴書を確認し、面接の心得を指導。</p> <p>10月16日 2社の面接を受け、一次希望の運送会社に就職が決まり、10/26～就労開始、12/10が初任給となる予定。免許更新の為、大阪府証紙支援。</p> <p>10月23日 小口貸付受給。電気・ガス・水道代の滞納(3ヶ月分)の支払いに充てる。</p> <p>10月26日 24日(土)採用が決まっていた会社から、不採用の連絡が入った為、ハローワークでの就職活動を再開。大社協の総合支援貸付制度の申し込みをする。</p> <p>11月2日 27日に面接を受けた運送会社に採用が決まり、本日より就労開始となる。</p>						
社会資源の活用	大阪府社協の生活困窮者レスキュー事業、社協の小口生活資金貸付制度、共同募金助け合い資金を活用						
経済的援助	生活困窮者レスキュー事業で18,744円支援・・・就職活動費(ガソリン15L 2,085円、自動車免許更新の為の大阪府証紙 3,300円)、食事支援 9,120円 小口貸付申請の為に印鑑証明 300円、鼻炎治療の受診、薬代 2,550円日用品費(シャンプー、ボディソープ、トイレトペーパー)1,389円						
連携機関	生活支援課、市社協、社会貢献支援員、ハローワーク、CSWと連携						